



平成20年度町成人式 今、踏み出す 大人への一歩



田中信太郎さん
成人代表謝辞 (要約)

人生の大きな節目にあたり、今まで私たちに愛情を注ぎ育ててくれた家族、そして優しく見守っていただいた地域の皆さんに心より感謝申し上げます。これまで支えてくれた多くの方々の顔が想い浮かびます。私たちの心の中には子どもの頃のこの「大山町」での懐かしい愛すべき思い出がいっぱいつまっています。私たちはそれぞれの選んだ道を歩み始めていますが、ふるさと「大山」の雄大な姿はいつも心の中にあります。これからは新成人として200人の仲間とのきずなを大切に、夢や目標に向かって一歩ずつ歩んでいきたいと思ひます。

1月4日、保健福祉センターなわで町成人式が行われました。昭和63年4月2日から平成元年4月1日に生まれた町在住者および町出身者で、今年成人に仲間入りしたのは214人。そのうち169人がこの日式に出席しました。

式典では、山口隆之町長が「成人式とは大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますことです。すべての人の命を大切に、多くの人に感謝の気持ちを持って人にやさしくできる大人になって、そして大山町に関心を持ち町を愛してほしい」と式辞を述べました。

祝辞では、伊澤百子町教育委員会委員長が「きちんとした判断ができるよう自分の中に座標軸を持って、真に自立した人間になってください」と述べ、来賓を代表して鹿島功町議会議長が「これからの人生を人の役に立つものにしてください」とはなむけの言葉を贈りました。

式後は、成人者が企画・主催する交流会が開かれ、懐かしい中学時代の写真をスライドで見たり、ビンゴゲームをして楽しいひとときを過ごしました。



中山地区